

# 解剖献体を用いた軟性内視鏡手術システム (Flexible Endoscopic Surgery System: FESS) の有用性を検討する医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属 <u>外科学 (一般・消化器)</u> 職名 <u>専任講師</u>
	氏名 <u>和田 則仁</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3802(医局直通)</u>
実務責任者	所属 <u>外科学 (一般・消化器)</u> 職名 <u>専任講師</u>
	氏名 <u>和田 則仁</u>
	連絡先電話番号 <u>03-5363-3802(医局直通)</u>

このたび当院では、慶應義塾大学医学部篤志会会員で、死後、ご献体いただいた方々のご献体を対象に下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによるご遺族の皆様への新たな負担は一切ありません。またご献体提供者のプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれないご遺族の方は、その旨、研究責任者の和田則仁までご連絡をお願いいたします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2018 年 Y 月 Z 日(承認後)より 2021 年 3 月 31 日までの間に、慶應義塾大学医学部篤志会を通じ慶應義塾大学医学部解剖学教室にご献体頂いた方

## 2 研究課題名

承認番号 20180017

研究課題名 解剖献体を用いた軟性内視鏡手術システム (Flexible Endoscopic Surgery System:FESS) の有用性の検討

## 3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部外科学 (一般・消化器) 教室

## 4 本研究の意義、目的、方法

近年、医師は高度で正確な検査手技や手術手技が要求され、一方では、さらなら医療の進歩が期待されています。外科学の領域でもロボットでの手術が一般的に導入されつつあり、国産でのロボ

ット開発に国として取り組む環境になってきております。そのような社会的環境や期待にこたえるべく、軟性内視鏡手術システムを現在開発しております。ご献体を用いて機器の有用性を検討する研究を通じて、機器の性能の向上や安全な手術手技の方法を検討し、よりよい機器開発に努めたいと考えております。

## 5 協力をお願いする内容

上記のような研究を行い、そこで得られたデータを解析し、開発を進めてまいります。またこの研究をもとによりよい機器への発展に努めます。従いまして、皆様に新たなご協力をお願いすることはありません。

## 6 本研究の実施期間

西暦 20XX 年 XX 月 XX 日 (承認後) ~2021 年 3 月 31 日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、性別と死亡時年齢と死因のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱うご献体の情報は、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) ご献体の個人情報と、匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、診療情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

住所： 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話： 03-5363-3802 (医局直通、平日 9 時～17 時対応)

担当者： 慶應義塾大学医学部 外科学（一般・消化器）

専任講師 和田 則仁

以上